2015 年 10 月 24 日

一般社団法人 品質と安全文化フォーラムの軌跡（セミナー＆講座他の記録）

※敬称略

開催日	講演テーマ	講演者	所属
09 年 6 月 25 日 設立記念 シンポジウム	①「製品安全と消費者の安全、企業はどうすべきか」	向殿政男	明治大学理工学部教授 品質と安全文化フォーラム会長
	②「消費者庁の創設に向けて」	扇慎太郎	内閣官房消費者行政一元化準備室参事官補佐
	③パネルディスカッション『消費者と安全と苦情対応』 【パネリスト】向殿政男教授（明治大学）、中村昌允教授（東京農工大学大学院）、日佐和夫教授（東京海洋大学大学院）、 タン・ ミッシェル教授（帝塚山大学）、沼尻禎二氏（家電製品協会消費者部部長）、鈴木清隆氏（㈱ニチレイフーズお客様相談センター長） 【司会】中嶋洋介氏		
	④「品質と安全文化フォーラムの設立趣旨、活動計画について」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
09 年 7 月 30 日 セミナー	①『リスクと安全、企業のリスクマネジメントと苦情対応』	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
	②『消費者庁ができると、苦情対応はどう変わるか』	天野泰守	カルビー株式会社　お客様相談室　室長 品質と安全文化フォーラム理事
09 年8月6日 セミナー	①「花森安治、中内功に仕えた 40 年、良い企業の条件ー向社会性の研究」	小椋雅章	向社会性研究所主任研究員、元ダイエー取締役 品質と安全文化フォーラム理事
	②「消費者庁ができると、企業はどう変わらねばならないか」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
09 年 11 月 19 日 セミナー	①「製品安全と表示、製品安全 4 法と製品安全規格」	長田敏氏	製品評価技術基盤機構　安全調査課課長
	②「食品の表示と安全・安心」	湯川剛一郎	財団法人日本食品分析センター　参与 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③パネルディスカッション『製品・食品の安全と安心　～交通安全システムに学ぶ～』 【パネリスト】向殿政男教授（明治大学）、中島恭一教授（富山国際大学）、タンミッシェル教授（帝塚山大学）、長田敏氏（NITE） 【司会】中嶋洋介氏		
09 年 12 月 3 日 セミナー	①『企業のCSRコミュニケーション　消費者の安全と安心』	薗田綾子	㈱クレアン代表取締役

	②『苦情対応マネジメント ―過去を振り返り、将来を考える―』	黒岩健一郎	武蔵大学　経済学部　准教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
10 年 1 月 19 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『リコールと経年変化問題と消費者の安全』	島上聖司	経済産業省　製品安全課　課長補佐
	②『消費者庁発足と消費者の安全政策を考える』	古谷由紀子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会　常任理事 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③『食の安全確保とトレーサビリティ』	酒井純	社団法人食品需給研究センター調査研究部　主任研究員
10 年 2 月 9 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『消費者安全と消費者コミュニケーション』	中村昌允	東京農工大学大学院教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『苦情と安全を経営に活かす――カルビーの CRM』	天野泰守	カルビー株式会社　お客様相談室　室長 品質と安全文化フォーラム理事
10 年 3 月 2 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『消費者目線から見た消費者政策と安全』	タン・ミッシェル	帝塚山大学　法学部教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『消費者安全とメディアの役割 ― 期待と責任』	小島正美	毎日新聞社　生活報道部編集委員
10 年 4 月 20 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『生活用品、食品、農薬における製品安全の考え方』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『電気用品の安全 ―― 安全規制の現状と課題』	結城則尚	経済産業省商務流通 Gr. 製品安全課課長補佐
10 年 5 月 18 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『安全と事故調査のあり方―自動回転ドアとエレベータ事故に学ぶ ――事故の調査機関がない』	向殿政男	明治大学理工学部　教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	②『消費者安全政策について』	野村裕	消費者庁　消費者安全課課長
10 年 6 月 15 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『医療事故の予防と発生時の対応 新生児医療の現場からの経験を中心に』	仁志田博司	東京女子医大名誉教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『安全をめぐって、消費者認識と事業者認識のギャップを埋めるもの ～対立から協働へ～』	阿南久	全国消費者団体連絡会事務局長 品質と安全文化フォーラム特別顧問
10 年 7 月 20 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『 法律と安全と苦情対応 』	南波裕樹	大成建設株式会社管理本部法務部法務室室長 品質と安全文化フォーラム理事
	②『 食品表示の現状と課題、取り組みについて 』	相本 浩志	消費者庁 食品表示課 課長

10 年 9 月 8 日 特別安全文化講座	①『日本の消費者安全規格の現状 ——ISO の消費者安全規格との比較』	山田次雄	㈶日本規格協会 規格開発部消費者関連標準化推進室長
	②『ISO22000 食品のリスクマネジメント ——ISO Guide51 は食品安全に適応可能』	高間一政	（株）日本環境認証機構　取締役　技術部長
	③『ISO 機械安全規格の体系とリスクアセスメント ——JIS 規格の現状と CE マーキング、EU 機機械指令の思想』	宮崎浩一	㈳日本機械工業連合会標準部　副部長
	パネルディスカッション『製品安全、食品・化学製品安全の仕組み、何が同じで、何が違うか』 ④講演:「製品安全の仕組み（20 分）」 講師:向殿政男　明治大学理工学部教授 ⑤講演:「食品・化学製品安全の仕組み（20 分）」講師:中村昌允　東京農工大学大学院教授 ⑥パネルディスカッション 【パネリスト】 向殿先生、中村先生、山田氏、高間氏、宮崎氏、講座参加者全員 （司会:中嶋）		
10 年 9 月 9 日 特別安全文化講座	①『企業と消費者のリスクコミュニケーションの現状と課題とあるべき姿』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『受け入れ可能なリスクと消費者と製品経年変化問題」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム　代表理事
	③『製品の経年変化問題と消費者・企業・行政のリスク・コミュニケーションのあり方』	藤代尚武	経済産業省　製品安全課　製品事故対策室長
	パネルディスカッション 『企業と消費者のリスクコミュニケーションのあり方』 ④講演:「リスクコミュニケーションのあるべき姿―製品の経年変化とリスク（例:扇風機、湯沸し器など）」 向殿政男明治大学理工学部教授 ⑤講演:「消費者が期待するリスクコミュニケーションと経年変化問題」古谷由紀子㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事 ⑥講演:「企業が期待するリスクコミュニケーションと経年変化問題」川池襄氏　日本機械工業連合会　標準部部長 ⑦パネルディスカッション 【パネリスト】向殿先生、中村先生、藤代氏、古谷氏、川池氏、講座参加者全員 （司会:中嶋）		
10 年 9 月 10 日 特別安全文化講座	①『事例で見る日本と欧州・米国のリコール制度』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『食品の回収、リコールについて、現状と課題 及び 欧米との比較』	湯川剛一郎	㈶日本食品分析センター　参与 テクニカルサービス部部長 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③『消費者目線のリコール制度』	古谷由紀子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会　常任理事 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	『消費者に向き合う企業と技術者と倫理』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問

10 年 10 月 19 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『家電製品の安全とADR』	沼尻禎二	家電製品 PL センター　次長
	②消費者（組合員）と行なう品質・安全管理	監物今朝雄	パルシステム生活協同組合連合会商品管理本部長スタッフ
10 年 11 月 16 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『認証と安全、ULの認証とULの公共安全のミッション』	原島圭介	株式会社 UL Japan　UL University GM， EMS Japan 代表取締役
	②『消費者目線の「安全性」とは』	宗林さおり	独立行政法人国民生活センター商品テスト部　調査役
10 年 12 月 1 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『商品事故と報道　～報道は何を伝えたいのか～』	内山太介	NHK科学文化部　記者
	②『うわさ、風評と消費者の心理　――企業と研究者のコラボレーションの必要性、可能性、課題について』	田中優	大妻女子大学　人間関係学部　准教授
11 年 1 月 18 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①電気用品安全法技術基準体系の見直し、ニューアプローチの採用への期待	向殿政男	明治大学理工学部教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	②品質の保証と信頼の確保の取り組み　雪印乳業の場合	日和佐信子	雪印メグミルク株式会社　取締役
	③食品の安全性と品質の保証　日本生協連の場合	鬼武一夫	日本生活協同組合連合会 組織推進本部　安全政策推進室　室長
	④安全品質、安心品質、そして信頼を得る為には	杉山清	株式会社ニトリ 取締役専務執行役員　品質業務改革室長
11 年 2 月 15 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①医薬品の事故と問題提起　――　医薬品の品質と安全	林　裕（ゆたか）	ゼリア新薬工業株式会社　薬事品質保証部　課長
	②サントリーにおける安全・安心への取り組み ～ お客様原理主義に基づいて ～	冨岡　伸一	サントリービジネスエキスパート株式会社 品質保証本部・品質保証推進部　部長
11 年 3 月 28 日 特別安全文化講座	①『リスクをどこまで減らせば、安全になり、安心できるか』	松岡　猛	宇都宮大学工学部機械システム工学科 教授
	②『ジャーナリズムはリスクをどう伝えるべきか ――――研究者とメディアの協働に向けて』	田中　幹人	早稲田大学大学院　准教授
	③『リスクコミュニケーションと技術者　―情報提供者としての責務　』	中村　昌允	東京農工大学大学院　教授
	④『信頼性工学と安全』	中島　恭一	富山国際大学　学長　教授

	⑤ パネルディスカッション 『メディアとリスクコミュニケーション メディアは真実を伝えているか？伝えられるか？』 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	南波　裕樹 安川　拓次 小松　義明 田中　幹人 松岡　猛 中島　恭一 中村　昌允	大成建設㈱ 法務部法務室 室長 花王㈱ フード＆ビバレッジ事業グループ長 グラクソ・スミスクライン㈱ 広報部　部長 早稲田大学大学院　准教授 宇都宮大学工学部機械システム工学科　教授 富山国際大学学長　教授 東京農工大学大学院　教授
11 年 3 月 29 日 特別安全文化講座	①『ヒューマンエラーはなぜ起きる？　ヒューマンエラーを防ぐ知恵』	中田　亨	(独)産総研 デジタルヒューマン工学研究センター
	②『消費者の誤使用と企業の対応』	川野　洋治	㈳消費者関連専門家会議 専務理事
	③『消費者の誤使用はヒューマンエラーか、 個人と組織集団のヒューマンエラー』	中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
	④『事故とヒューマンエラー』	中村　昌允	東京農工大学大学院　教授
	⑤『ヒューマンエラーとどう向き合うか』 ⑥ パネルディスカッション 『ヒューマンエラーとどう向き合うか ――ヒューマンエラーと消費者の誤使用と事故原因を考える』 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	向殿　政男 中田　亨 向殿　政男 中村　昌允 川野　洋治 南波　裕樹	明治大学理工学部教授 (独)産総研 デジタルヒューマン工学研究センター 明治大学理工学部教授 東京農工大学大学院　教授 ㈳消費者関連専門家会議 専務理事 大成建設㈱ 法務部法務室 室長
11 年 4 月 12 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『SRの時代における消費者委員会の役割とISO26000の意義』	松本　恒雄	一橋大学大学院法学研究科教授(元法科大学院長) 内閣府消費者委員会委員長、ISO/SR 国内対応委員会委員長
	②『ISO の変遷 ―― 品質・安全・環境から CSR へ』	中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
11 年 5 月 10 日 SRM クロスオピニオンセミナー	①『食に関する風評被害について』	梅津 準士	食みらい研究所㈱　元食品安全委員会事務局長
	②パネルディスカッション 風評被害、消費者の疑心暗鬼を最小化させるために 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	梅津 準士 堀口 逸子 田代 光輝	食みらい研究所㈱　元食品安全委員会事務局長 順天堂大学公衆衛生学教室リスクコミュニケーション ニフティー株式会社、産業技術大学院大学
	③『福島原発　食品の放射能汚染と人体への影響』	林　徹	聖徳大学　人間栄養学部　教授、　元食総研所長

11 年 6 月 10 日(金) 10:00－16:00	ニトリ工場見学会 午前:ニトリ東京本部(東京都北区神谷3丁目6－20) 午後:ニトリ関東DC(埼玉県南埼玉群白岡町大字篠津1276－4)	参加者:18 名 案内者:㈱ニトリ　杉山清専務、佐藤和明氏	
11 年 6 月 17 日(金) 13:00～14:00	第 2 回　定例総会		
11 年 6 月 17 日(金) SRM クロスオピニオンセミナー	①『消費者のリスク認知と信頼』	中谷内 一也	同志社大学　心理学部　　教授
	②『安全をめぐる消費者行動の比較 ― 豪州と日本の消費者 リスクに対して、何が同じで、何が違うか？』	タン ミッシェル	帝塚山大学　法学部　教授
11 年 7 月 22 日(金) SRM クロスオピニオンセミナー	①『リスクマネジメントはリスク探しから ―― 全社的リスクマネジメント(ERM)を考える』	本間 俊明 中嶋 洋介	株式会社ドキュメントハウス代表取締役社長 品質と安全文化フォーラム　代表理事
	②『食の安全とリスクコミュニケーション ―― クロスロードゲームを通じて考える』	堀口 逸子	順天堂大学　医学部公衆衛生学教室
11 年 9 月 13 日(火) 13:00～19:00 特別安全文化講座	『ISO の安全に関する規格の現状と課題(製品・食品・化粧品・医薬品)』	若井 博雄	財団法人日本規格協会 企画部長　　現 ISO 理事
	『日本、EU、米国などの内外の食品安全規格、及び HACCAP、ISO22000、codex委員会について　現状と課題』	高橋 梯二	東京大学大学院農学生命科学研究科　非常勤講師 トウールーズ大学法学博士(食品法)
	『世界の安全認証と米国における UL 規格と関連する規格』	阿部 勇治	株式会社 UL Japan　製品認証部長
	全員参加のディスカッション 『製品安全と食品安全　技術標準、安全規格と法律について』	司会 中嶋 洋介	
11 年 9 月 14 日(水) 13:00～19:00 特別安全文化講座	『集団浅慮と空気の研究　　お任せの安全が起きている』	中嶋 洋介	一般社団法人品質と安全文化フォーラム代表理事
	『組織行動論と専門職集団 ――組織の中でのコンフリクトと倫理・不祥事』	チェ・インソク	専修大学　経営学部　教授
	『「うるさ型」を企業の意思決定に役立てる』	羽田 昭裕	日本ユニシス株式会社総合技術研究所所長
	『組織過誤、過去の教訓をリスクマネジメントに生かす』	細田 聡	関東学院大学　文学部現代社会学科　教授
	全員参加のディスカッション 『集団浅慮とリーダシップ　　―集団の意思決定を誤らないようにするには、どうすればよいか？』	司会 中嶋 洋介	

2011 年 10 月 4 日 （火）SRM クロスオピニオンセミナー	『人災と責任、マネジメントはどうあるべきか』	中田　亨	独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター 研究員・博士（工学）
	『食肉の生食による食中毒 事故と責任を巡る企業と消費者』	中野　栄子	㈱日経 BP コンサルティング　開発本部 編集グループ プロデューサー
2011 年 11 月 9 日 （水）SRM クロスオピニオンセミナー	安全文化を育てよう　～安全な社会への貢献～	向殿　政男	明治大学理工学部教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	食品の安全と企業の役割　～食品安全の責任～	高橋　梯二	東京大学大学院農学生命科学研究科　非常勤講師 トゥールーズ大学法学博士（食品法）
	製品安全・食品安全　企業と行政と消費者の役割	野々山　宏	独立行政法人国民生活センター理事長
	UL University からの発信　安全は品質を運ぶ船（うつわ）である©	原島　圭介	株式会社 UL Japan　UL University 部長、 株式会社 UL ASG Japan 代表取締役社長
2011 年 11 月 15 日 （火）SRM クロスオピニオンセミナー	『福島第一原発事故を分析する、事故原因と今後の見通し』	松岡　猛	宇都宮大学工学部客員教授　日本学術会議会員
	『生産環境、農業資材の放射能汚染を踏まえた食品の安全確保について』	湯川　剛一郎	(財)日本食品分析センター テクニカルサービス部長 日本技術士会　農業部会長
2011 年 12 月 7 日 （水）SRM クロスオピニオンセミナー	『苦情対応マネジメント　－顧客満足と市場志向－』	黒岩　健一郎	武蔵大学　経済学部　准教授
	『消費者の苦情対応と ADR の実態』	田中　圭子	NPO 日本メディエーションセンター代表理事
	『企業にとっての正しいリスクの伝え方 』	小島　正美	毎日新聞社　編集委員
2012 年 1 月 17 日 （火）SRM クロスオピニオンセミナー	『商品の安全・品質と企業の役割 ～企業における安全・品質確保の取り組みと、責任体制のあり方～ 』	齋藤　憲道	同志社大学　法学部　教授
	『企業における SNS コミュニケーションリスク』	田代　光輝	株式会社ニフティー　社会活動推進室
	『消費者の安全確保のための新しい制度と国民生活センターの役割 ～消費者庁内に「消費者安全調査会」を設置～ 』	野々山　宏	独立行政法人国民生活センター理事長
2012 年 2 月 21 日 （火）SRM クロスオピニオンセミナー	原子力発電所　ストレステストの意味するところ	松岡　猛	宇都宮大学工学部客員教授　日本学術会議会員
	消費者保護から消費者主権へ　生団連設立が問いかけること ※生団連：国民生活産業・消費者団体連合会	井上　淳	日本チェーンストア協会　専務理事 兼　生団連　専務理事代行

2012 年 3 月 28 日 （水）13:00～17:00 特別安全文化講座	風評被害の防止と効果的なリスクコミュニケーションの方法	有路　昌彦	近畿大学　農学部水産学科　水産経済研究室　准教授
	エコナ販売自粛の経緯とその後	安川　拓次	花王株式会社　執行役員　ヒューマンヘルスケア事業ユニット　フード＆ビバレッジ事業グループ長
	パネル・ディスカッション テーマ　：　風評被害のリスク　企業はどう対応すべきか	有路　昌彦 安川　拓次 冨岡　伸一 中野　栄子 羽田　昭裕 中嶋　洋介	近畿大学　農学部　水産学科　准教授 花王株式会社　執行役員 サントリービジネスエキスパート㈱　品質保証部長 日経 BP コンサルティング　編集グループ 日本ユニシス株式会社　総合技術研究所　所長 司会
2012 年 3 月 29 日 （木）13:00～17:00 特別安全文化講座	建築構造物の安全・安心の歴史　～建設費と安全の関係～	藤盛　紀明	NPO　国際建設技術情報研究所　理事長 元清水建設株式会社　常務執行役員　技術戦略室長　兼　技術研究所長
	パネル・ディスカッション 「ゼロリスクはない」とするなら、どうやって安全、安心を説くか？」	藤盛　紀明 向殿　政男 松岡　猛 高橋　梯二 小出　薫 南波　裕樹 阿南　久 中嶋　洋介	元清水建設株式会社　常務執行役員 明治大学　理工学部　情報科学科　教授 宇都宮大学　客員教授 東京大学大学院　農学生命科学研究科　非常勤講師 株式会社明治　常務執行役員　品質本部長 大成建設株式会社　管理本部法務部法務室室長 全国消費者団体連絡会　事務局長 司会
2012 年 4 月 10 日 （火）消費者関連研究会	企業のインターネットトラブル事例の紹介と対応方法 【基礎編】	田代　光輝	㈱ニフティー　　社会活動推進室
	コミュニケーショントラブル 　説得と苦情対応の理論と実際　　【基礎編】	中嶋　洋介	一般社団法人　品質と安全文化フォーラム　代表理事
2012 年 4 月 24 日 （火）SRM クロスオピニオンセミナー	ISO TC199 機械安全における安全の論理と理念 ――この考え方はすべての分野の安全に通じる――	向殿　政男	明治大学　理工学部　情報科学科　教授
	空の安全と ALPA （日本乗員組合連絡会議） ――皆さんと考えたい事故調査と安全――	髙本　孝一	元日本航空　ボーイング 747 機長、MD-11 機長 日本乗員組合連絡会議（ALPA）
2012 年 5 月 23 日 （火）SRM クロスオピ	化学物質のリスク評価とゼロリスク　～ゼロリスクを考える～	蒲生　昌志	独立行政法人　産業技術総合研究所 安全科学研究部門　リスク評価戦略グループ長

ニオンセミナー	子どもはだれでも明日の消費者　～消費者教育の意義を考える～	細川　幸一	日本女子大学　家政学部　教授 内閣府　消費者委員会　委員
2012 年 6 月 8 日（金） 13：00～17：00 消費者関連研究会	企業のインターネットトラブル事例の紹介と対応方法 【シリーズ第 2 回目】	田代　光輝	ニフティー株式会社　　開発推進室 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	消費者のリスク認知と意思決定 【行動意思決定論的アプローチ】	竹村　和久	早稲田大学文学学術院　教授 早稲田大学意思決定研究所　所長
2012 年 6 月 26 日 （火）13:00～17:00	一般化してきたフードディフェンス対策と消費者安全	湯川　剛一郎	東京海洋大学 先端科学技術研究センター 食品流通安全管理専攻 教授 技術士(農業(食品化学)及び総合技術監理部門)
	凸版印刷が見る優良企業 50 社の CSR コミュニケーションと消費者の安全	今津　秀紀	凸版印刷株式会社　情報コミュニケーション事業本部 トッパンアイデアセンター　マーケティング本部 CSR・ブランド戦略チーム課長
2012 年 7 月 10 日 （火）13:00～17:00 消費者関連研究会	顧客苦情対応の実際と今後	佐々木　光邦	元ソニー株式会社　顧客対応・苦情対応部門 品質と安全文化フォーラム理事　事務局長
	クレームに対する法的対応と個人情報保護法	中井　淳	弁護士　　林勘市法律事務所
2012 年 7 月 24 日 （火）14：00～17：30	13:00～13：50　　総会		
	リコールリスクと企業の社会的責任 消費者の危険回避モデル議論とISO26000の議論	越山　健彦	千葉工業大学　社会システム科学部　教授 品質と安全文化フォーラム　特別顧問
	事例に学ぶヒューマンエラーとその対策について	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクタ研究所　安全人間工学担当 元実践女子大学　生活科学部生活環境学科　教授 品質と安全文化フォーラム　特別顧問
2012 年8月7日（火） 13:00～17:00	企業のネットトラブルとネット・SNS 活用法	田代　光輝	ニフティー株式会社　　開発推進室 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	企業のネットトラブル　標的型攻撃のメールの手口と対策	内山　友弘	独立行政法人 情報処理推進機構（IPA） 技術本部 セキュリティセンター 普及グループ
2012 年 9 月 4 日（火） 13:00～17:00	労働安全における事故事例と安心と安全の問題	細田　聡	関東学院大学文学部教授 財団法人労働科学研究所主任研究員

特別安全文化講座	14:30～17:00 フリー ディスカッション: 『労働安全における安心・安全から、消費者の安心・安全を考える』	松岡猛先生（宇都宮大学） 機械安全、製品安全の立場 垣本由紀子先生（日本ヒューマンファクター研究所）ヒューマンエラーの立場 南波裕樹氏（大成建設法務室長）企業法務の立場 細田聡先生（財団法人労働科学研究所主任研究員）労働安全の立場か 司会：中嶋洋介氏（品質と安全文化フォーラム 代表理事）	
2012年9月5日（水） 13:00～17:00 特別安全文化講座	リスク社会における食品の安心	高橋 梯二	東京大学大学院、トウールーズ大学法学博士 食品法 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	フリー ディスカッション 『どうすれば消費者の安心を築けるか ～安心すると事故につながる？～』	古谷由紀子氏（日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会）：消費者の立場 越山健彦先生（千葉工業大学 社会システム科学部教授）：製品安全の立場 南波裕樹氏（大成建設法務室長） ：企業法務の立場 高橋梯二先生（東京大学大学院） ：食品安全の立場 司会：中嶋洋介氏（品質と安全文化フォーラム 代表理事）	
2012 年 10 月 23 日 （火）13:00～17:00	『食物アレルギー、食品表示、そして消費者』	丸井 英二	人間総合科学大学 人間科学部 教授
	『安全品質が維持された商品の提供 ・・・ニトリの経営コンセプトとその仕組み/機能』	杉山 清 氏	株式会社 ニトリ 東京本部 取締役専務執行役員 品質業務改革室長
2012 年 11 月 30 日 （金）13:30～17:30	『安全を考える コンピューターの安全と機能安全 』	向殿 政男	明治大学 理工学部 情報科学科 教授 一般社団法人品質と安全文化フォーラム名誉会長
	『安全を考える 鉄道におけるヒューマンファクターと安全』	楠神 健	東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター 安全研究所 所長
2013 年 1 月 22 日 （火）13:00～17:00	『国際的な消費者政策の動向－ISO COPOLCO（消費者政策委員会）の動き』	中久木 隆治	一般財団法人 日本規格協会 標準化基盤部 消費者関連標準化推進室 室長
	『変わりゆく消費者庁～もっと消費者に“見える”存在に！』	阿南 久	消費者庁 長官 元品質と安全文化フォーラム特別顧問
2013 年 2 月 26 日 （火）13:00～17:00	『企業法務部門が消費者の安全にどのように貢献できるか』 ～企業法務は、消費者の安全にとって、「敵」か「味方」か？～	南波 裕樹	大成建設株式会社 法務部法務室長
	『新しい国際規格 － ISO 10377（製品安全ガイドライン）及び ISO 10393（製品リコールガイドライン） ― 商品の安全とリコールの考え方について』	弘田 貴巳	独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 標準・技術基準課 主査
2013 年 3 月 27 日 （水）13:00～17:00	『私の中の安全の歴史』	向殿 政男	明治大学 理工学部 教授 一般社団法人品質と安全文化フォーラム名誉会長
	『安全・安心とリスクコミュニケーション』	北野 大	明治大学 理工学部 教授

2013 年 3 月 28 日 （木） 13:00～17:00	『コミュニケーション特性から見るリスクコミュニケーション』	中嶋　洋介	大妻女子大学人間関係学部非常勤講師（消費行動論） 一般社団法人品質と安全文化フォーラム　代表理事
	『食品による健康危機発生時における社会的な反応とリスクコミュニケーション』	濱田　美来	㈱三菱総合研究所　社会公共マネジメント研究本部 食農ビジネスグループ　研究員
2013 年 4 月 24 日 （水） 13:00～17:00	『コーポレート(本社)品質部門の見える化による製品安全ガバナンス活動展開』	黒沼　陽一郎	株式会社　東芝 品質統括本部　品質推進室　品質技術担当　参事
	『食品安全行政のグローバルな枠組み』	山田　友紀子	農林水産省顧問　農学博士 (前) 農林水産省大臣官房　技術総括審議官
2013 年 5 月 21 日 （火） 13:00～17:00	『製品安全を紐解く～流通事業者としての消費生活用製品の安全確保について～』	佐々木　靖	日本生活協同組合連合会　品質保証本部 安全政策推進室　家庭用品担当
	『食品安全情報の伝え方～消費者教育事例から』	蒲生　恵美	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会（NACS） 食生活特別委員会副委員長
2013 年 6 月 19 日 （水）14:00～17:00	消費者市民社会の形成を目指した消費者教育・商品等の安全教育	米山　眞梨子	消費者庁　消費生活情報課　消費者教育担当
	『新しい時代のための事業者と消費者の協働』	井上　淳	国民生活産業・消費者団体連合会　　専務理事 日本チェーンストア協会　　専務理事
2013 年 7 月 24 日 （水） 13:00～17:00	消費者安全調査委員会の取り組みと今後の展望	片山　登志子	弁護士　片山・黒木・平泉法律事務所 消費者安全調査委員会委員
	消費者裁判手続特例法案と消費者団体訴訟制度について	黒木　理恵	弁護士　片山・黒木・平泉法律事務所
	渋谷シエスパ温泉爆発事故判決とその影響について ―事業者の責任と取引のあり方、従業員・消費者・生活者の安全について	南波　裕樹	大成建設株式会社　管理本部　法務部　部長
2013 年 8 月 21 日 （水） 13:00～17:00	『リスクと安心 ―― 日本人はリスクを理解する国民に変身できるか』	安井　至	独立行政法人製品評価技術基盤機構　　理事長
	『 “R-Map”とは？ ―― “R-Map”を食品などに適用できるか？』	松本　浩二	日科技連 R-Map 実践研究会　統括主査 PS（製品安全）コンサルタント
2013 年 9 月 25 日 （水） 13:00～17:00	『「OKAトライアングル」を読み解く ～製品の安全な使用と誤使用の関係 ～』	高杉　和徳	製品安全コンサルタント （元株式会社東芝） 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	『食物アレルギーへの対応 ～消費者の「安全」と「食べる喜び」～』	大石　泰之	日本ハム（株）中央研究所　次長

2013 年 10 月 23 日 （水）13:00～17:00	『 ISASI 2013 に参加して ――次世代の事故調査官をいかに育てるか 航空事故調査における次世代へのスキル・知識の継承について 』	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクター研究所　顧問　安全人間工学担当 品質と安全フォーラム特別顧問
	『持続的な社会の実現を目指す花王の学校教育活動 』	深澤　純一	花王株式会社　生活者コミュニケーションセンター　部長
2013 年 11 月 21 日 （木）13:00～17:00	『食品の安全性も現場に出かけて現物を見て考えよう』	戸部　依子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 NACS 消費生活研究所
	『みんなでディスカッション OKA トライアングルから考える消費者の　安全と企業の責務 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 会長
2013 年 12 月 18 日 （水）13:00～17:00	『 ヒューマンエラーの理論と現実を点検する 現場の知恵を理論に生かし、人災を防ぐマネジメントを！』	中田　亨	(独) 産業技術総合研究所　セキュアシステム研究部門 セキュアサービス研究グループ　主任研究員 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 特別顧問
	『事故の発生、組織の保身と腐敗』	松岡　猛	元宇都宮大学　教授 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 特別顧問
2014 年 1 月 22 日 （水）13:00～17:00	『組織学習理論とその実践的含蓄 ――組織と学習　なぜ、組織は同じ 誤りを繰り返すか？　』	三橋　平	慶応義塾大学　商学部　商学研究科　教授
	『消費者の安全と企業の社会的責任 ――消費者市民社会における企業の責務と消費者の責務　』	松本　恒雄	(独)国民生活センター　理事長 元一橋大学大学院法学研究科教授 元内閣府消費者委員会委員長
	『消費者の安全・安心と消費者庁のこれから ――食品の虚偽表示で何が問われたのか　』	阿南　久	消費者庁　長官
2014 年 2 月 19 日 （水）13:00～17:00	『 近代的な安全文化の再考 ～津波と犯罪からの子どもと住まいの安全を例に 』	山本 俊哉	明治大学　理工学部　建築学科　教授
	『 安全へのアプローチ 危ない！の科学と日常生活インフォマティクス 』	西田 佳史	独立行政法人 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター　首席研究員
2014 年 3 月 19 日 （水）13:00～17:00	『製品の安全・品質と、認定・認証制度 ブランド、認証マーク、法規制とその信頼性 』	瀬田　勝男	独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター　技監(工学博士)
	『食品企業の視点で観る安全及びリスク情報発信の実際 ～食品の安全、リスクの伝達、企業の社会的責任などについて～ 』	小出　薫	一般社団法人品質と安全文化フォーラム　理事 株式会社 明治　特別顧問

2014 年 4 月 18 日 （金）13:00～17:00	『消費者団体の今とこれからを考える』	井上　拓也	茨城大学　人文学部　社会科学科　教授
	『食品企業にとっての安全文化と立ち位置 ～私見を含めて今後の課題と展望～』	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　　取締役　品質保証室長
2014 年 5 月 23 日 （金）13:00～17:00	『ISO26000　企業の社会的責任とは ～消費者の安全に加え、企業に求められること～　』	湯川　剛一郎	東京海洋大学　　先端科学技術研究センター 食品流通安全管理専攻　教授
	『製品安全における認定・認証制度の利用 －国際規格での規定と各国・地域の差異－』	瀬田　勝男	(独)製品評価技術基盤機構　認定センター(IAJapan)　　技監
	『消費者の安全と製品・食品などの認定・認証制度　現状と今後の課題』	原島　圭介	株式会社　UL ASG Japan　代表取締役社長
2014 年 6 月 20 日 （金）13:00～17:00	『「安全第一」の来し方行く末 ―― 何にゆえに安全が一般社会に普及しないのか』	白崎　彰久	中央労働災害防止協会　マネジメントシステム審査センター所長
	『「安全第一を考える」　―― 安全第一の功罪 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授
	『「安全第一」 なぜ、安全は広がらないのか 安全・品質・生産」の中で　どうしたら安全が広がるか』	中嶋　洋介	一般社団法人　品質と安全文化フォーラム　代表理事
2014 年 7 月 18 日 （金）13:40～17:00	「反科学」社会とどう向き合うか	掛谷　英紀	筑波大学　システム情報系　准教授
	「これからの消費者庁　　～平成25年度「消費者白書」から考える～」	片山　朗	消費者庁　消費者調査課長　（元消費者情報課長）
2014 年 8 月 22 日 （金）13:40～17:00	「商品回収のリスクマネジメント」	天野　泰守	カルビー株式会社　コーポレートコミュニケーション本部 本部長補佐
	「消費者とリコール　リスクマネジメントをどう考える」	戸部　依子	公益社団法人　日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 消費生活研究所　所長
2014 年 9 月 19 日 （金）13:00～17:00	「学校における消費者教育の現状と課題 」	神山　久美	山梨大学大学院　　教育学研究科　准教授
	「消費者安全と消費者教育の進め方～2 年間の振り返りとこれからの課題」	阿南　久	前消費者庁長官　「日本だまされないゾウ学会」会長
2014 年 10 月 24 日 （金）13:00～17:00	「安全・安心なコミュニティーづくりと人々の安全」	鈴木　俊治	明治大学理工学部客員教授、 ハーツ環境デザイン　代表
	「建築構造物の安全・品質と人々の安全　」	長島　一郎	大成建設株式会社　技術センター　建築技術研究所　所長
2014 年 12 月 19 日 （金）　13:00～17:00	「多様な基準値を通して考える安全の本質 ～リスク・ベネフィット・トレードオフ～　　」	岸本　充生	東京大学　公共政策大学院　特任教授
	「自動車の安全技術と品質・安全　～目指すべき自動車の安全とは～　」	伊藤　誠	筑波大学　システム情報系　教授
2015 年 1 月 23 日 （金）13:00～17:30	「消費生活用製品の事故動向とリスク低減に向けた取組み」	山本　修	(独)製品評価技術基盤機構　理事
	「Guide51 の改訂の要点と JIS 化、及び我が国に与える影響」	向殿　政男	明治大学　名誉教授
	「消費者庁の今後の展開と消費者安全について」	板東　久美子	消費者庁長官

2015 年 2 月 17 日 （火）13:00～17:00	「医療提供側の立場から見るアレルギーの問題とリスク　」	関谷　剛	東京大学医学部附属病院アレルギー・リウマチ内科医師 埼玉医科大学　非常勤講師
	「飲食の現場から見るアレルギーの問題とリスク」	中西　純一	一般社団法人アレルギー検査協会
	「消費者目線で考える食物アレルギーと食品表示の問題点とリスク」	戸部　依子	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 NACS 消費生活研究所長、食生活特別委員会　委員長
	「食物アレルギーと食品表示との関係」	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　取締役　品質保証室長
2015 年3月 17 日 （火）13:00～17:00	「製品の安全コミュニケーションと消費者のリスク　」	正木　秀樹	株式会社コシダアート　専務執行役員
	「消費者目線で考える取扱説明書と安全コミュニケーション」	松島　一恵	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 NACS 消費生活研究所
	「食品事業者の消費者との安全コミュニケーションのあり方　」	山崎　毅	NPO 食の安全と安心を科学する会　（SFSS）理事長
	「消費者から見る食品、医薬品の安全コミュニケーション　」	戸部　依子	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 NACS 消費生活研究所長、食生活特別委員会　委員長
2015 年 4 月 21 日 （火）13:00～17:00	「善い会社」とは	野村　修也	中央大学法科大学院　教授 森・濱田松本法律事務所　客員弁護士
	「善い会社」とは	西頭　恒明	日経 BP 社　日経ビジネス編集部長
2015 年 5 月 19 日 （火）13:00～17:00	「製品の安全と人材育成」	三上　喜貴	長岡技術科学大学　副学長（国際交流担当） 安全安心社会研究センター長　システム安全系　教授
	パネルディスカッション『商品の安全とサプライヤーの責任/安全のための人材育成」』 コーディネーター：向殿政男 パネラー　：三上喜貴、パナソニック・田中祥太郎、、アイリスオーヤマ・川名美宏、ニトリ・杉山清、ハウス食品・有馬大輔 進行役　：中嶋洋介		
2015 年 6 月 16 日 （火）13:00～17:00	『車座ディスカッション Jun. 2015 』　座長：小出　薫（㈱明治　顧問）、向殿 政男（明治大学名誉教授） 消費者にリスクを正しく理解してもらうためには、リスクをどのように伝えたら良いか？ 出席者：天野泰守（カルビー）、大島昌子（元花王）、斎木茂人（日本ハム）、南澤陽一（日清製粉）、宗林さおり（（独）国民生活センター）、 監物今朝雄（元パル生協）、中西純一（アレルギー検査協会）、林裕（ゼリア新薬工業）、羽田昭裕（日本ユニシス）、松島一恵（NACS）		
2015 年 7 月 21 日 （火）13:00～17:00	『ソーシャルメディアと企業・生活者の関わり』	細川　一成	㈱電通パブリックリレーションズ　シニアコンサルタント
	『SNS 時代における消費者と企業とのコミュニケーション：SNS の特徴から考える』	阿部　勘一	成城大学　経済学部　准教授
2015 年 8 月 18 日 （火）13:00～17:00	リスクを伝える『 消費者にリスクを正しく理解してもらうためには、 リスクをどのように伝えたら良いか？ 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授　明治大学 校友会長

	日本人の行動様式『 リスクを「避ける」から「比較する」へ 』 ～日本人の変身は可能なのか～	安井　至	東京大学 名誉教授　(独)製品評価技術基盤機構・名誉顧問
2015 年 9 月 15 日 （火）13:00～17:00	食品安全のリスクマネジメント ― ISO 22000 と HACCP	湯川 剛一郎	東京海洋大学 先端科学技術研究センター 教授
	平成 27 年版消費者白書について―安全分野を中心に―	尾原 知明	消費者庁消費者安全課長
2015 年 10 月 20 日 （火）13:00～17:00	安全にかかわる技術の先見力	伊藤 誠	国立大学法人 筑波大学 システム情報系 教授 大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻担当
	いすゞの安全運転支援の取組みとヒューマン ファクタ的課題	岩男 眞由美	㈱いすゞ中央研究所 主席研究員